

プロジェクト別損益管理システム「A PRO」

Project Profit and Loss Management System, “ActualPRO”

1. はじめに

ActualPROとは、エンジニアリンググループ会社向けに開発した「グループ経理共通システム」をベースに、製造業やエンジニアリング、建設業、システムインテグレータ、サービス業など、個別受注型企業の業務を業種別にテンプレート（雛型）化した、エクサが一般企業向けに展開している基幹業務系ソリューションである。

ActualPROは、「調達管理」、「時数管理」、「人事情報管理」、「債権管理」、「会計決算」、「プロジェクト予算管理」、「マスター管理」の7個の基本モジュールで構成されている。(Fig. 1)

また、業種別テンプレートにより、フィットギャップ分析からサービスインまで、ヶ月での短期導入が可能である。

2. 基本コンセプト

2.1 きめ細かなプロジェクト別の損益管理が可能

財務費目単位（材料費、労務費、外注加号）での日々の財務実績確定処理を待たずに随時行うことができる。これにより、発生源での実績入力情報が即日プロジェクト管理情報に反映され、プロジェクト管理者にとって、実績の早期把握を可能にしている。加えて、これらプロジェクト管理に必要な情報は「情報検索」機能によりいつでも容易

3. A PRO の基本機能概要

3.1 販売管理系の機能

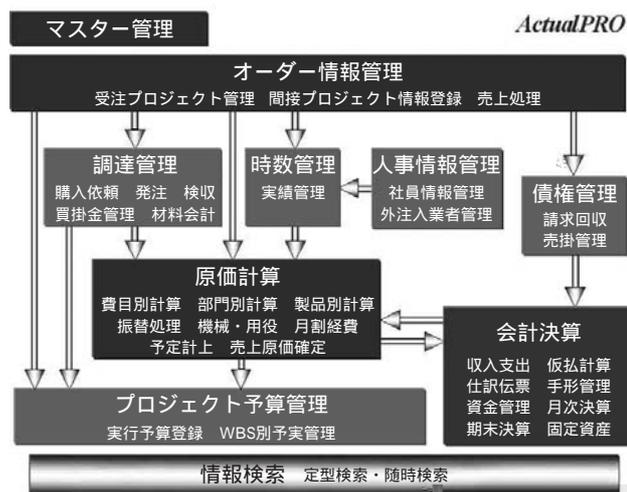
主に営業担当の方が利用する機能として、「オーダー情報（契約仕様など）の登録から納品後の売上処理、請求書発行、および請求に対する入金の消し込みを行う機能である。特に入金消し込み処理に関しては、契約情報、売上情報、請求情報より自動生成された入金予定情報をベースに、システムによる案件別自動消し込みを行うものである。

3.2 プロジェクト管理系の機能

「プロジェクト予算管理」では、「オーダー情報管理」でのオーダー登録と同時に採番されるプロジェクト番号単位での予算管理が可能となっている。また、この機能では受注案件以外（保証工事、設備工事、研究開発費など）として登録されたプロジェクトに関しても、受注案件と同等の予算管理が可能である。

3.3 調達の機能

プロジェクトに必要な機器、材料、外注の調達処理を行うのが「調達管理」である。各部門の担当者からの調達要求入力から調達担当者の見積り、ネゴ、発注処理、検収処理、および検収後の買掛金計上、残高管理、支払い管理の機能を保有している。また、在庫を抱える企業向けには、



* ActualPROは、(株)エクサの登録商標である。

材料の入在庫管理，在庫管理，棚卸しを行う「材料会計」機能を保有している。

3.4 原価計算機能

「原価計算」では，個別受注型企业の特徴である個別原価計算制度を標準で採用している。発生源から収集した実績を費目別，部門別，製品別（プロジェクト別）に計算し，必要に応じて間接部門費の配賦計算を実施した後，プロジェクト別の原価実績を売上処理と連携し，「仕掛品」と「売上原価」を自動認識して把握・蓄積する。

配賦計算は，間接部門費として収集された実績を，あらかじめ設定された配賦基準に従い製品原価他に配賦する。配賦方法については，フロア面積比など，あらかじめマスターの設定をするものと，工